

仙台四郎.JP



仙台四郎って、だ〜れ？

商売繁盛の福の神様、【仙台四郎】



江戸末期から明治にかけて、宮城県仙台市に実在した人物です。常に笑顔を絶やさず、街の人々から愛されていました。

「仙台市長を知らずとも、四郎を知らない人はいない」といわれるほど存命中から超有名で、その動向は常に地元のメディアに取り上げられるほど。

四郎さんが立ち寄ったお店はことごとく繁盛し、四郎さんが抱っこした子どもは丈夫に育った・・・などという数々のエピソードが言い伝えられ、当時の新聞や多くの歴史資料に、その記録が残されています。

今でも宮城県・仙台を中心とした地域では、多くの人々から親しまれ、大切にされている、民間から生まれた福の神様です。

四郎がモデル、キャラクター誕生！



待ち受け画像、
プレゼント中！

詳しくは

www.sendai-shiro.jp

を見てね！



名前は『すまいる四郎』。得意技は笑顔です。にこっ♪

仙台四郎の「せんだい」は、さ行四文字。

「すまいる」も、さ行四文字で、ちょっと語呂がよいでしょ？

この笑顔を見るたびに、一緒に「にこっ」と微笑んで欲しいなあ。

そんな願いを込めました。

目次

特集記事

仙台四郎って、だ〜れ？	1
「しろばか」と呼ばれて・・・	2
笑顔のあなたが、福の神	3
四郎親族より「ありがとう」	4

今号のハイライト

四郎がモデル、キャラクター誕生！	1
好奇心いっぱいの四郎さん	2
三瀧山不動院	3
仙台四郎の祀り方	3
お礼に、復興のお役に立たせてください	4

今だからできることがある
Walk
with
東北

【Walk with 東北】は、
震災を忘れない気持ちをあらわし、
気持ちの風化を止めるための
全国的なプロジェクト。
仙台やしやご屋も賛同します。
<http://walkwithtohoku.jp/>



「しろばか」と呼ばれて・・・

仙台四郎とは、江戸末期～明治にかけて、現在の宮城県仙台市に実在した人物です。生年は安政元年（1854年）頃、没年は不明ですが明治36年（1903年）頃とみられています。本名は芳賀豊孝。仙台藩に仕える鉄砲鍛冶屋の四男として生まれました。兄の二男・三男は幼少の頃に亡くなったため、男の子だとまたすぐ亡くなるのではと案じた両親は、幼い四郎に女の子の着物を着せ、大切に育てたとされています。

四郎は知的障がいを持っており、街の人々から「しろばか」と呼ばれていました。

四郎の障がいには先天性説・後天性説があり、また、その程度についても諸説があります。言葉も「バヤン（ばあや、の意味）」としかしゃべれなかったという話があれば、それ以上に会話ができたという話もあります。実際のところ、その真相は不明です。

四郎は常日頃、ニコニコと街を歩き回っていました。障がいのせいで、からかわれたり、いじめられたりもしたようです。しかし一方で、いつになっても子どものように無邪気で明るく、人間本来の笑顔をつねに持っていたことから、行く先々で受け入れられ、大変可愛がられました。



無邪気で明るく、純真な笑顔が愛されました



好奇心いっぱいの四郎さん

四郎は常に街を歩き回っていました。生家は仙台の中心街にありましたが、その行動範囲は家の近所にとどまらず、時には馬車や汽車、自転車に乗ることも楽しんでいました。

岩沼・石巻・白石といった宮城県内だけでなく、山形や福島にも足を延ばしていたらしい記録が残っています。好奇心で乗り物に近づいていく四郎は、周りの人々の好意から、いつも無料でそれらの交通機関を利用させてもらっていたと言われています。

そんな四郎らしく、最後は行方不明のまま消息を絶っています。明治36年（1903年）、48歳の頃に福島の須賀川で亡くなったらしいと言われています。当時の新聞には「釜山港を漫遊中」と書かれたり、また50歳代半ば頃にアジア大陸で死亡とも伝えられましたが、真相はわかりません。



ある時から、「商売繁盛の福の神」という噂が

そんな四郎が好んで立ち寄り商店はなぜか繁盛し、呼ばれても見向きもしなかった商店は倒産していった……。やがて人々から、「しろばかは、実は商売繁盛の福の神様ではないか？」という噂が立ちました。以降、人々からもはやされ、その動向は生存中から常に当時の地元メディアにとりあげられる存在となっていきました。

現在巷に伝えられている話は、史実をもとにしたものもありますが、通説も多くあります。当時の新聞各紙では四郎のことを面白おかしく扱う記事が多く見受けられ、中には誇張したとみられる内容も多く含まれていることから、その実像について諸説わかれた要因となっていると思われます。いずれにしても、「仙台市長のことは知らなくても、四郎を知らない人はいない」と言われるほど、仙台では有名人であったことは確かです。

生存中は「しろばか」と呼ばれていた四郎は、のちに「仙台四郎」として知られるようになりました。明治18年頃、当時30歳の四郎を千葉一さんという方が撮影し、のちに大正時代になって「明治福ノ神（仙臺四郎君）」と題した絵葉書を販売したことから、そう呼ばれるようになったようです。以降今日に至るまで、この写真をもとに様々な肖像画が描かれています。





笑顔のあなたが、福の神

仙台四郎が立ち寄りお店は繁盛した、と言われていました。知的障がいを持っていた四郎は、常にニコニコと街を徘徊していました。そんな四郎が屈託のない純真な笑顔で、ふらっと店先にあらわれた時、あなたが店主ならどうしますか？

四郎を温かく迎え入れたお店は、結果的に繁盛しました。四郎を邪険にしたお店は、結果的に倒産していきました。そんな現象が重なって、「四郎は商売繁盛の福の神では？」という噂が広まり、街中の人気者になっていきました。ちなみに、欲目から四郎の袖をひっぱって引き込もうとしたお店には、なぜか四郎は興味を示さなかったそうです。そういうお店も、やはり倒産していった、と言われていました。これは何を意味するのでしょうか。

四郎が福の神だった、という解釈も成り立つかもしれませんが。しかし、単に四郎を拝めば儲かるのか、というと、そういうわけではないのです。四郎という存在に、やさしい眼差しを向けることのできるお店。それはつまり、心の余裕、心の豊かさを持ったお店です。だからこそ、ふらりと立ち寄った四郎の存在をありのまま受け入れ、優しい一言をかけることができたのでしょう。そんなお店は、どんなお客様に対しても、同じように敬意をもって接したことでしょう。

つまり、笑顔の四郎に笑顔で応えた、そんなステキなお店の皆さん一人一人が「福の神」の心をもっていらしゃった。笑顔で歩き回る四郎は、人々の優しさと共振する音叉のような存在だった、と考えられます。

仙台四郎の祀り方

- ① 仙台四郎の笑顔を思いださせるものをご用意ください。写真や絵など、なんでも結構です。四郎の写真やイラストを携帯の待ち受けにしてもいいでしょう。あなたに合ったスタイルで、目にとまる身近なところにおいてください。
- ② 四郎の笑顔が目にとまるたび、あなたも四郎と一緒に笑顔になってください。

待ち受け画像、プレゼント中！ 詳しくは www.sendai-shiro.jp を見てね！



三瀧山不動院

仙台四郎が祀られている三瀧山不動院では、このように言われています。

明治時代実在の人物 福の神 仙台四郎

時は明治、「笑う門には福来る」…そんな諺通りに笑顔をたやさず商売繁盛を招く一人の男がいた。

その名も「仙台四郎」。(中略)“四郎バカ”と呼ばれてはいたが、当時の人々は、四郎の純粋な心と笑顔を楽しみ、大切にもてなしたと言われていました。

四郎を慕って集まる子供たちは丈夫に育ち、彼の立ち寄った店は千客万来であった

…そのような言いつたえから、仙台の旧家や老舗等には「福の神 仙台四郎」の写真が飾られてあります。

もちろん四郎の写真にただ手を合わせるだけでは成し遂げられません。笑顔と感謝を忘れず、努力を積み重ねることが商売繁盛、家内安全、学業や無病等の開運招福といわれております。

導きを願う祈りを毎日実行してみようではありませんか。

三瀧山不動院
仙台市青葉区中央二丁目5-7
(クリスマスロード商店街)

仙台やしやご屋

【Email】

office@sendai-shiro.jp

【ウェブサイト】 仙台四郎.JP

www.sendai-shiro.jp

【Facebook】 仙台四郎

www.facebook.com/sendaishiro.jp

【Twitter】 仙台四郎

[@shiro_office](https://twitter.com/shiro_office)



四郎親族より「ありがとう」

【仙台やしやご屋】代表は、四郎の親族。兄・太郎の玄孫（やしやご）にあたります。

日々、ニコニコと街を徘徊していた四郎。道を歩けば、沿道のお宅にお呼ばれし、おやつやお食事を御馳走になる日々を送っていたと言われていています。知的障がい者であった四郎が、その存命中から仙台の人々に愛され、行く先々で大切にもてなしていただいていたということ。そして今でもなお、土地の方々から大切にされ、その存在が皆様の暮らしの中で生き続けていることに対し、親族の立場として感謝の念にたえません。四郎のことを福の神として大切にしてくださっている皆様に、この場をお借りして心より厚く御礼申し上げます。

お礼に、復興のお役に立たせてください

キャラクター「すまいる四郎」は、東北復興に向けて頑張る地域商店の皆様を応援するために開発しました。被災地および周辺商店の皆様、ならびに非営利を目的として活動する団体が、東北地方への観光客誘致・販売促進活動にイラストをご活用なさる場合には、無料でご使用いただくことが可能です。

土産物グッズの開発に関するお問い合わせもお待ちしております。なお、その際には本活動の維持のため、ライセンス料等のお支払をお願いしております。

詳しくは、仙台やしやご屋までお問い合わせください。

あまいる 四郎の東北ファンクラブ



東北を応援。
同時に自分も楽しい、美味しい、嬉しい。
そんな活動しませんか？



登録・会費は一切不要。
アナタがいるお茶の間で、
アナタらしく始めてください。

～こんな人におススメ～



楽しいことが好き。
お取り寄せが好き。グルメが好き。
新しい出会いにワクワクする。

東北をもっと好きになるコツ

- 東北耳より情報をフォロー&ツイート
- 東北系スタンプを楽しくつかってみる
- ご近所やネットで東北食材・商品を調達してみる
- 東北関連のイベントに出かけてみる
- お気に入りの東北系ゆるキャラを探してみる
- 東北を旅してみる



情報シェアには
ハッシュタグ #仙台四郎をつけてね



Facebook【仙台四郎】
www.facebook.com/sendaishiro.jp



Twitter【仙台四郎】
@shiro_office



スタンプ販売中!
クリエイターズスタンプ「すまいる四郎」で検索



仙台四郎.JP

公式グッズ

好評発売中

詳しくは HP の
オンラインショップで！



LINE STORE

『すまいる四郎』で検索してね♪



仙台やしやご屋

すまいる四郎、ピンチを救う

¥120

有効期間 - 期限なし

<http://line.me/S/sticker/1119453>

四郎スタンプで、励まし上手に♡
笑顔とセリフに、癒されちゃう♪

